

# 21世紀金融行動原則 2018年度最優良取組事例 環境大臣賞(地域部門)を受賞!!

～地域に根ざした持続可能な社会形成を目指す地方銀行の手本として評価～



右：原田 義昭 環境大臣

当行は、3月6日(水)、「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(通称：21世紀金融行動原則)」の定時総会において、2018年度最優良取組事例として「環境大臣賞(地域部門)」を受賞しました。

今回の受賞は、当行の『しがぎんSDGs宣言』を起点とした、社会的課題解決に向けたビジネスモデル創出支援の取り組みが評価されたものです。

## 選定理由

- ◇ **新規性、組織全体で取り組む本気の姿勢**…「ニュービジネスサポート資金(SDGsプラン)」及び産官金連携の「滋賀SDGs×イノベーションハブ」の立ち上げ。
- ◇ **持続可能な社会の形成を目指す地方銀行の手本**…事業性評価の本質を捉えるとともに、非財務情報を見極める行員の「目利き力」の向上、お客さまの新規ビジネス拡大につながる「ニュービジネスサポート資金(SDGsプラン)」。
- ◇ **先進的な海外の情報や動きを取り入れようとする積極的な姿勢**…UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアティブ)への署名やTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)への賛同。統合報告書の発行。
- ◇ **我が国におけるさらなる同種の取り組みへの期待**

## 21世紀金融行動原則

持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針。署名金融機関は、自らの業務内容を踏まえ可能な限り原則に基づく取り組みを実践する。2011年に環境省が事務局となって制定されたもので、2019年3月時点で269機関が署名。

## 受賞企業

**最優良取組事例(環境大臣賞)**(3社)

(総合部門) 株式会社りそなホールディングス

(総合部門特別賞) 損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

(地域部門) **株式会社滋賀銀行**

**特別賞(運営委員長賞)**(2社) 野村證券株式会社、三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社